

淡 路 徹 AWAJI TOORU

〒018-1401 潟上市昭和大久保字小橋50番地-1

1949年 昭和24年06月11日生

入会 1989/4/1昭和・飯田川RC（潟上ロータリークラブ）

株式会社 淡路製粉 2022.7～取締役 会長

〒018-1402 秋田県潟上市乱橋字開上関田122番地

TEL 018-877-3270 FAX 018-877-6285

会社個人email sirOusagi@outlook.jp

[URL:http://www.awajiseifun.co.jp](http://www.awajiseifun.co.jp)

ロータリークラブ 略歴

2023-2024 地区ガバナー

2020.1.1-2021.6.30 地区長期基盤確立委員長

2016-2017,2014-2015 北区ガバナー補佐

2012.11 地区大会 災害復興支援 特別奉仕賞 受賞

2011-2012 潟上ロータリークラブ44代会長

2010-2011 地区財務委員長

1999-2000 昭和飯田川ロータリークラブ32代会長

1993 ダクターマンRI会長賞 受賞

1989/4/1 昭和飯田川ロータリークラブ入会

公職 略歴

2016.8.26～ 月山神社 氏子責任総代

2014.6.10～ 潟上市 企業懇話会 会長

2005～2016 全国穀類工業協同組合理事 16～20 役員 監事

2001.5～ 秋田北法人会 常任理事

ロータリー財団 PHF認承額PHF+6 US\$ 7,150 MPH





株式  
会社

淡路製粉

創業 1946年 製菓製造卸

製粉事業開始 1950年

創業当初から 「味は文化なり」を掲げお客様満足を第一義とする事業活動。

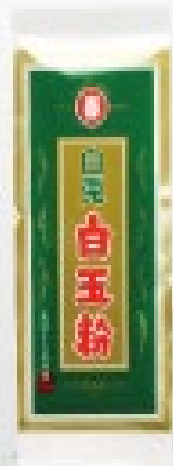
1. 原料厳選吟味
2. 各製造工程に創意工夫
3. 独自技術による商品づくり
4. 新商品開発
5. 高品質で魅力ある商品づくり
6. 信頼ある商品提供
7. 「食」の安全と安心、健康に寄与する

一貫して、生産技術の向上、情報技術と知的創造力を生かす。

和のあるチームで実行力を高め実績を蓄えお客様に喜ばれる企業を目指します。

登録商標「白兎印」淡路製粉

白玉粉



白玉もち



米粉



しあわせ米粉ミックス粉



上新粉・米の粉



だんご粉



秋田もち



きな粉・餡・よもぎ粉末





# 2023年国際協議会報告

2023年1月8日～1月13日 米国 フロリダ州 オーランド  
ローゼン シングルクリーク ホテル





2023 - 24 RI会長 ゴードン R. マッキナリー

「世界に希望を生み出そう」

Create Hope in the World



世界に希望を生み出そう

ゴードン R. マッキナリー会長エレクトは、ロータリーが平和やメンタルヘルスのために活動し、世界に希望を生み出すよう呼びかけています。また、そのためには対話を通じて信頼を築くことが重要であると訴えています。

サウス・クイーンズフェ  
リーロータリークラブ  
スコットランド  
ウェストロージアン

グレートブリテン  
およびアイルランドの  
国際ロータリー (RIBI)



## 『継続』と『変化』

- 継続「以前のリーダーたちの良いアイデア」  
を前進させること 詩人マヤ・アンジェロウの言葉を引用、“継続”の重要性を強調。  
思考を止めて同じことを続けることではないよ♪
- 変化「変化に対してオープンで前向きになりましょう」

## 『平和』と『希望』

- 平和とは、希望が根づくための土壌世界に平和をもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒し、希望を取り戻すこと。
- 世界と自分自身の中で平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和でより希望のある世界を築く手助けができる

# 『RI会長エレクト強調事項』

- ローターアクトクラブと協力し、支え合う新しい方法の模索
- 女児のエンパワーメント
- DEIの促進
- ポリオ根絶
- 行動計画の実践
- メンタルヘルス

# 『ポリオ根絶』

ポリオの根絶が依然としてロータリー的最優先事項である。  
今、私たちが必要なのは「更なる挑戦」世界の主要都市でポリオが発生し再び注目が集まっている。

現在政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会会長の尾身茂氏は、WHO西太平洋地域事務局長時代にSARS対策で陣頭指揮を取り、それ以前WHO西太平洋地域事務局時代ロータリーのポリオ根絶活動を称賛し、同地域のポリオ根絶に貢献した。

世界の子どもを脅かす流行がさらに発生する前にポリオを根絶できるという希望を生み出すために、皆さんの力が必要です。



# 『メンタルヘルス』

新型コロナ流行の結果、多くの人が傷つき、身近な人を失い、社会的なつながりが絶たれました。最も傷ついているのは、教育の機会を奪われた子どもや若者です。助けを求めることは「弱さと考え」躊躇し潜在化し、助けを求めることは勇気が必要です。

ロータリアンは、他の人を助ける事で、自分自身のストレスが軽減され、心持が良くなり、自分自身のメンタルヘルスと幸せ向上ためにもなるのです。

## 結び

世界と自らの中に平和を築くことに力を注げ

ばロータリーはより平和でより希望のある

世界を築く手助けができます。

世界に希望を生み出すよう心から願います。

















Wominjeka means to come with purpose, just as we are all here today. So please hold that in your forefront, that when you see Wominjeka, you know you are here for great purposes. Thank you.

Wominjeka means to come with purpose, just as we are all here today. So please hold that in your forefront, that when you see Wominjeka, you know you are here for great purposes. Thank you.









2024 - 25 RI 会長

ステファニー A.  
アーチック

米国 ペンシルバニア州  
マクマリー・ロータリークラブ

アーチック氏は女性として史上二人目の国際ロータリー会長となります。9月15日に会長ノミニーとして宣言されます。

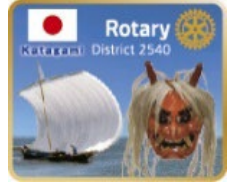


2023-24年度 RI第2540地区  
スローガン

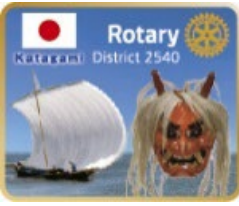
ひとり一人の奉仕が光をともし  
みんなの明かりに



RI第2540 地区方針



1. 新 2020～24年地区計画が終了します。地区  
長期計画委員会を設置し2025～2029年5ヶ年  
計画の立案・策定に着手します。
2. 新 DEI「多様性・公正・包括性」プロジェクトを  
設置し地区内クラブへの浸透を図ります。
3. 新 各種研修セミナーにRLI方式を採用し研修  
の楽しさを学びクラブへの拡大を図ります。



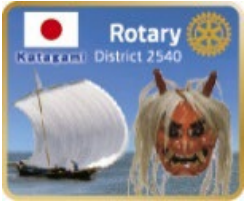
4.継 クラブの資質向上を目指し全クラブへRLI  
セミナー参加を奨励しDLデスカッションリーダー  
を育成します。

5.新 DLP(地区リーダープラン)を導入し少子高齢地区に  
対応した組織とします。

6.継 会員維持増強 拡大を目指します。  
少子高齢が進む当地は、会員目標絶対数値から人口  
10万人当り会員数目標130人と設定、県内事業所数  
44,500(2022年調)でロータリアンの加入率目標を2.75  
%とします。事業所の範囲をNPO法人や各種団体、  
公務員等に拡大します。 1225人(女性会員134)



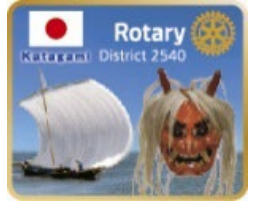
7. 再 分區別会員維持増強連絡協議会を開催し  
具体的目標数を各分区各クラブで明示します。



8. 継 少数クラブ活性化プログラムとして分区及び隣接  
クラブと積極的に連携行事を行い、会員候補者  
を紹介等、会員増強に取り組み活動を支援します。

9. 継 衛星クラブ・ローターアクトクラブ等、一クラブの創設  
を目指す支援をします。

10. 継 マイロータリー活用（登録率60%）を目指しロータリー  
ラーニングセンターの活用を促し、ロータリーへの関心  
度向上に努めます。



11. 継 既存メディアや新メディア活用を多様化させ、ロータリー認知度を高める公共イメージ向上に努めます。  
認知度を上げるためロータリーロゴ、マークの周知を図ります。
12. 継 ロータリー財団年次基金一人150ドル、ポリオ30ドルを目指します。
13. 再 ポリオ撲滅運動を継続します。



14. 継 青少年交換、米山奨学生制度を活用し  
全クラブからの希望を優先し、募集と  
ホストクラブ早期実現を図り、若者へ  
ロータリー活動の周知を図ります。  
米山基金一人14,000円
15. 再 SDGs、カーボンニュートラル、生物多様性  
等の観点から環境保全活動を推進します。
16. 再 RI会長賞に取り組むクラブを支援します。
17. 再 ロータリー希望の風を支援します。



18. 継 ロータリーカードの利用促進に努めます。
19. 継 地区大会10/21-22、国際大会5月シンガポールへの参加を促し、参加者の増加に努めます。

注：新2023-24年度の事業    継前年度からの継続事業    再過年度事業で再開する事業

地区スローガン

ひとり一人の奉仕が光をともし、みんなの明かりに